

1 選手・チーム関係者の新型コロナウイルス感染防止対策について

【大会前の注意事項】(体調管理シートの作成と携行)

- 大会参加者は大会参加日の1週間前から検温を行い、体調管理シートへ記録をする。
- 体調管理シートの提出は必要ない。求めがあったときに提出できるように大会に携行し、個人で1か月間の保管をする。
- 選手・チーム関係者とその家族は日常的に感染予防を行い、身近なコミュニティ内での生活のみに留めるよう心がける。
- 大会参加日までの2週間以内に以下の事項にあてはまる場合は参加ができない。その場合、必ず大会事務局に連絡をする。
 - ・ 平熱を超える発熱(37.5℃以上)がある場合
 - ・ 体調不良(例:咳・咽頭痛などの風邪の症状、だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等)がある場合
 - ・ 同居家族や知人等が新型コロナウイルス感染症陽性とされた場合または感染が疑われる状態で、濃厚接触者またはそれに準じた状態である場合
 - ・ 大会参加日までの2週間以内(3月5日以降)に、日本政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との接触がある場合
- 感染時の重症化リスク軽減のためワクチンの接種に努める。

【大会当日の注意事項】(健康状態申告書の提出)

- 1週間の健康状態を記載した健康状態申告書を提出すること。健康状態申告書の提出がないものや提出はあっても必要事項の記載がないものは参加を許可しない。
- 大会当日は出発前に検温を実施し、発熱や体調不良等がないことを確認後、健康状態申告書を記入して来場する。
- 受付時に非接触型体温計による検温を実施する。
- 選手は自転車に乗車中以外ではマスク着用を必須とする。
- 選手は出走30秒前まではマスクを着用し、フィニッシュ後、呼吸が落ち着き次第直ちにマスクを着用すること。
- 他の参加者またはスタッフとの適切な距離の確保に努める。
- こまめな手洗い・洗顔・手指消毒を徹底する。
- 大きな声での会話は禁止する。
- 痰や唾を吐かない。
- タオル、ボトルなどの共用はしない。
- 一切のゴミは各自で持ち帰る。特に使用済みマスクや鼻水、唾液などがついたごみは袋に入れて密閉する。
- 各チームピットはアルコール消毒液を用意すること
- 体調不良者や負傷者が出た場合は、むやみに近寄らず大会スタッフに救助を依頼する。

【大会終了後の注意事項】

- 大会終了後も感染リスク低減のため、身近なコミュニティ内での生活のみに留めるよう心がける。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合や発熱や咳などの感冒症状がでた場合は必ず速やかに大会実行委員会に報告し、濃厚接触者の有無等についても併せて報告する。
- 大会終了後、2 週間以内に感染が確認された場合は、必ず本連盟に報告する。

2 観客の新型コロナウイルス感染防止対策について

- 愛媛県自転車競技連盟は新型コロナウイルス感染症が流行中の期間は大会の観戦自粛を勧める。
- 競輪場観客席への立ち入りについては当連盟の管轄外であるので施設管理者の指示に従うこと。
- 検車場、練習場への立ち入りは禁止する。
- 発熱や体調不良のある場合には来場しない。
- 場内では常時マスクを着用する。
- 大声を出さない。
- 選手との交流は実施しない。
- 会場内でのアルコール消毒を積極的に使用する。
- 日常的に感染予防を行い、身近なコミュニティ内での生活のみに留めるよう心がける。
- 大会参加日までの 2 週間以内に以下の事項にあてはまる場合は来場しない。
 - ・ 平熱を超える発熱（37.5℃以上）がある場合
 - ・ 体調不良（例：咳・咽頭痛などの風邪の症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等）がある場合
 - ・ 同居家族や知人等が新型コロナウイルス感染症陽性とされた場合または感染が疑われる状態で、濃厚接触者またはそれに準じた状態である場合
 - ・ 大会参加日までの 2 週間以内（3 月 5 日以降）に、日本政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との接触がある場合
- 感染時の重症化リスク軽減のためワクチンの接種に努める。